

# 総合計画・教育ビジョン・一番星プランにおける美術館・博物館の位置づけ

## 1. 船橋市総合計画 後期基本計画ふるさとふなばしプラン2020

分野別計画 第3章	文化を育み「豊かな心と」と「生きがい」が実感できるまち
政策2－基本施策1	個性豊かな市民文化の創造
施策1・2	芸術文化の振興

### ■施策1「芸術文化の振興」

船橋らしい芸術文化活動及び芸術作品鑑賞がしやすいよう環境を整え、文化活動の発表及び質の高い芸術文化にふれる機会を増やすために、文化施設の整備を進め、市民への支援体制の充実を図ります。

### ■施策2「ふるさとの歴史・文化財の保存と活用」

地域との連携をとりながら、文化財や遺跡の調査、研究、保存、活用を行い、市民が“ふるさと船橋”に愛着を持てるように博物館事業等の充実を図ります。

平成24年度策定

平成32年度までを目標年次とする

## 2. 船橋の教育—教育振興ビジョン及び教育振興基本計画—

船橋市総合計画 後期基本計画の教育に関する部門別計画として位置付けられる

船橋の教育目標	地域の教育力の向上を図り生涯学習社会を実現する 社会の中で協調し自立できる子どもを育成する
8つの基本方針	基本方針1 地域の教育力向上を図ります
推進目標1	生涯学習の推進
施策3	芸術・文化の振興

### ■施策3【文化施設の充実と活用】（現状と課題）

優れた芸術文化に触れる機会の増大、市民自らが参画する文化活動の場の拡充並びに充実した情報の提供などの市民サービスが強く求められていることから、施設機能の拡充や環境整備に努める必要があります。

### ■文化施設の充実と活用（文化課）

- ・様々な文化・芸術と触れ合える機会、市民自らの参画の拡充のため、文化施設の整備と機能の充実及び活用を図る。美術館・博物館・市民文化ホール等を計画的に整備する。
- ・経営の軽量化のため、(仮称)清川記念館・市民ギャラリーの一体的管理運営を推進し、指定管理者制度を導入する。

平成22年度策定

平成26年度までを目標年次とする

### 3. ふなばし一番星プラン 第二次船橋市生涯学習基本構想・推進計画

2つの重点目標	I 「生涯を通して自分らしく学び続けよう」 II 「学びで得た成果を地域に活かしてつながろう」
4つの方策	方策1 「社会の状況に対応した自分探しの学びを応援します」 方策3 「充実した生涯学習の環境づくりを目指します」
施策1-1-1	芸術文化活動の推進
施策3-7	生涯学習関連施設間等の連携・充実

#### ■施策1-1-1 「芸術文化活動の推進」

芸術文化活動は、個人にとどまらず、やがては市全体への広がりが期待されます。また、歴史的な文化遺産を生かし、まちを活性化していくためには、芸術文化活動の支援を進めていくことが必要です。近年においては、新たにデジタル化技術などによって、文化の次世代への継承も高い質で維持することが可能となっています。芸術文化にかかわる団体との連携なども視野に入れ、芸術文化活動の振興を図るための学習機会や活動の場の提供に努めます。

#### ■施策3-7 「生涯学習関連施設間等の連携・充実」

市内には、公民館や図書館のほか、市民文化ホールや市民文化創造館、博物館等の文化施設、児童ホームやキャンプ場等の青少年を対象とした施設、運動公園等の体育施設、老人福祉センター等の高齢者福祉施設、下水処理場等の環境関連施設、保健センター、男女共同参画センターといった、多くの施設があります。また、市内には生涯学習にかかわる民間事業者やNPO等もあり、これらの施設との連携・充実により、一人ひとりの生涯学習への期待に応えることを目指します。

平成24年度策定（平成12年度策定の第一次計画を改定）

平成32年度までを目標年次とする